

# 2期目もトップ当選

東京都荒川区の相馬ゆうこ日本共産党区議(40)は、4月の区議選(定数32)で3970票を獲得し、1期目に続き2期目もトップ当選しました。その力は何なのか。相馬区議事務所を訪ねました。(畑野孝明)

4月27日(木)午後3 一番は、区政ニュースの毎週発行を続けていることだと思えます。日常的に住民と結び付けたことで、前区議(父親の相馬堅一氏)の得票も、4年前の自分の得票もほぼ維持できた」と相馬区議は語ります。

## 読まれる紙面に

区政ニュースの始まりは20年以上前。再開発でオーロックの高層マンションが立ち並ぶ地域に急変し、その居住者に宣伝物を届けるためにと前区議が始めた。「ニュース」の大部分はマンションに配布し、戸建てや毎週の駅前宣伝での配布も続けています。

## 統一地方選 奮戦から

### 東京・荒川区 相馬ゆうこ区議



区政ニュースのファイルを示す相馬ゆうこ区議(4月28日、東京都荒川区)

# 毎週の区政ニュースに

「自分が伝えたいことより、住民が知りたいことを載せる」。前区議のアドバイスを受け、読まれる紙面にも努力。最新号では区議選の結果とともに、「ついに南千住にもスターバックス」と大手コーヒーチェーン店の進出計画を掲載。

「区民には一大関心事なんです。荒川区は23区で唯一スタバがない、と言われたので」(相馬区議)

「ニュース」はB4判裏表(4ページ)。4月末のトップ記事は区議選結果紹介で、共産党候補の結果だけでなく、低投票率への提案や、女性議員比率の低さ、自公の過半数割れなど全体状況が分かるよう工夫。毎月で子育て世代向け、インターネット情報を収集でき

ない高齢者向けなど、区民全体に目を配り、「世代や党派を超えて、区民に役立つもの、情報源にしてみよう」と、情報源にしてみよう。届いたニュースを分

長年続ける中、区政ニュースの固定読者も生まれています。毎週2カ所の駅前宣伝では午前7時からの1時間半で3000~5000人が受け取ります。このニュースだからと受け取る人も多く、選挙中に何人も「いつも読んでますよ」と声をかけてくれました。

## 地域が押し上げ

相馬区議は4歳と2歳の2児の母親です。夫は飲食店経営で夜は家を空けられませんが、4年前はゼロ歳児の母でした。夜や休日などの宣伝や対話・支持拡大などに制約があります。

相馬区議の実情や思いを共有した地区委員会や党支部が、宣伝や対話・支持拡大などで力を発揮しています。「ニュース」発行は前区議の頃から厚い体制を確立し、印刷するのは地区委員会のポラン

ティアスタッフ。40人以上の配布スタッフごとに宛名付きで梱包(こんぼう)し、木曜日に相馬事務所へ届けます。届いたニュースを分かります。届いたニュースを分かります。届いたニュースを分かります。

「南千住5-7丁目支部」の風間英一さん(84)は、戸建てへの配布を担当し、360枚を3回に分けて配ります。「マンションは大勢で一気になる。私は出会った人と話をしながらゆっくり配るのがいい。毎週配るから顔なじみになり、後援会員になってくれる人もいます。後援会ニュースは120人に配布している」と話します。

茂木正道・荒川地区委員長も相馬区議の得票について「区政ニュースは他の区議も発行している。毎週1万2000枚配布というのが違う」と話します。地区は、20代の新入議員が区議とともにSNSチームに入り活発に活動するなど、新しい動きもつくりだしています。一方で党勢の後退は克服できておらず、同区でも選挙直前に地域の高齢幹部が複数倒れ、現職区議が議席を失う事態も生まれました。

区政ニュースの掲載内容の一例

**南千住レポート**  
この南千住レポートは、区政ニュースの1ページ目に掲載されています。内容は、区民の声を届けるための取り組みや、地域の課題についてです。

**相馬リタクシーの実証実験**  
住民の要望はどこに届くのか、というテーマで、相馬区議がリタクシーの実証実験を行いました。実験の結果、住民の要望がよりよく届くことがわかりました。

**南千住ラオラスにスターバックス**  
南千住ラオラスにスターバックスがオープンしました。これは、荒川区にとって初めてのスターバックスです。相馬区議は、このオープンを歓迎し、地域の活性化に貢献することを期待しています。

**法律・生活相談**  
毎月11日(木)は、法律・生活相談の日です。この日には、区民の法律相談や生活相談を受け付けています。相談内容は、借金、離婚、相続などです。

相馬ゆうこ区議が発行している区政ニュース(4月30日・5月7日合併号)

「いつでも元気で明るくありたい」。笑顔を絶やさない相馬区議の新たな挑戦が始まっています。